

Medicine

メディスン

Written by Enda Walsh

病院らしき施設のなかの部屋。
パジャマ姿のジョン・ケインが入ってくる。
そしてまもなく、ドラム奏者、
メアリーという名前のふたりの女性、
老人と巨大ロボスターがやって来る…



撮影: 阪野貴也

2021年イギリスでの初演から瞬く間に演劇界を席卷した
エンダ・ウォルシュの最新作をグランシップで!

これまでも舞台『バリーターク』や『アーリントン』の作劇、映画『LONGE』ダブリンの街角で「舞台版でのトニー賞ミュージカル脚本賞受賞や、デヴィッド・ボウイの遺作のミュージカル『ラザルス』の脚本執筆などで、日本でも注目されてきたアイルランド生まれの劇作家・脚本家のエンダ・ウォルシュ。そのエンダ・ウォルシュによる最新作『メディスン』は、2021年8月にエディンバラ国際フェスティバルで初演、9月にはゴルウェイ国際アーツフェスティバルで上演されると、11月にはニューヨークでも上演。イギリスの新聞各紙に絶賛のレビューが掲載され、瞬く間に演劇界を席卷しました。

そして2024年、『Medicine メディスン』がついに日本初演を迎え、静岡公演はグランシップで6月29日(土)と30日(日)に開催されます。演出はこれまでも『バリーターク』『アーリントン』『ラブ・ストーリー』を手掛けた白井晃。出演には、田中圭、奈緒、富山えり子と魅力的なキャストが揃いました。出演者は3人の俳優と、1人のドラム演奏者のみ。グランシップで繰り広げられるユーモアと不安が混在する世界にどうぞご期待ください。



Eriko Tomiyama 富山 えり子

大変なことになりました。いつかは…と思っていた白井晃さんと、いつかまた…と思っていた田中圭さんと奈緒さんと、そして打楽器をかじった私にとって気になりすぎる荒井康太さんと、作品創りができるなんて夢のようです。稽古はそれはもう濃密なものとなるでしょう。今から喜びと畏れで震えています。興味深いエンダ・ウォルシュさんの戯曲のもと、スタッフ、共演者の皆さんと、そしてお客さまと、どんなエネルギー、空気、空間、時間が創り出せるのか、今から緊張しながらも、とても楽しみです。よろしく願い致します。

福島県出身。2010年、劇団鹿殺しの舞台公演『電車は血で走る』で「楽隊」メンバーとして初舞台を踏む。以後舞台を中心に、映画、テレビドラマにも出演している。最近の主な出演作品は、【映画】「最後まで行く」「逆光」「樹海村」「宇宙でいちばんあかるい屋根」、【ドラマ】「大奥」「箱庭のレミング」「パパがもう一度恋をした」「パラレル東京」「海月姫」「ごめんね青春!」、【舞台】『モグラが三千あつまって』『クランク・イン!』『ザ・ウェルキン』『友達』『私たちは何も知らない』『CHIMERICA チャイメリカ』など。

撮影：阪野貴也(田中圭・奈緒・富山えり子)



Kei Tanaka 田中 圭

時代と共に変わりゆく世の中で、変わらない普遍的なものもありますよね。その普遍的なものを肌で感じ、体感できるひとつが舞台だと思います。今回久々に白井さんと、そして俳優3人、ドラム演奏者1人での舞台。この作品にどっぷりとつかってみたいと思います。メディスン。不思議な作品で、難しいです。ただ、今のこの複雑な時代を生きている僕らに何か救いとなるような、刺激となるようなお薬があったらいいな。という思いで挑戦します!! 小さな空間で、激しい作品にしたいと思いますので是非楽しみにしてください!

1984年生まれ。東京都出身。2000年に任天堂のCMでデビュー。2003年に話題作となったドラマ「WATER BOYS」で主人公の親友役を務め、注目を集める。これまで多数の映画やドラマ、舞台など話題作に出演し、幅広く活躍中。近年の主な出演作品は、【映画】「Gメン」「月の満ち欠け」「ハウ」、【ドラマ】「ブラックポストマン」「unknown」「リバーサルオーケストラ」、【舞台】『夏の砂の上』『もしも命が描けたら』『CHIMERICA チャイメリカ』など多数。2023年11月より放送のドラマ「OZU〜小津安二郎が描いた物語〜」の第一話「出来ごころ」、2024年1月より放送のドラマ「おっさんずラブ-リターンズ-」(テレビ朝日系)に出演。

about Medicine

エンダ・ウォルシュは『メディスン』を書くにあたって、アイルランドの精神病院で患者とみなされた人たちがどう扱われて来たかを読んだこと、そして老人ホームへ移った自身の母親とアルツハイマー病を見て、大きな影響を受けたといいます。

「僕の戯曲はどれも、愛されなかったり、ちゃんと見守られなかった人たちを書いてきた。この劇は、施設やホームにいたり中毒者だったり、見守られることが必要な人たちについての物語、そして私たちが彼らを見放したらどうなるかを描いている」とエンダ・ウォルシュは初演時のインタビューで語っています。

奈 緒 Nao

部屋には男が1人、同じ名前の女が2人とドラマが1人。難解な本に静かな興奮をおぼえました。そして、あの日KAAT神奈川芸術劇場で『バリートーク』を観た時の感動を思い出していました。エンダ・ウォルシュの世界に白井晃さんと、心から信頼する先輩方と共に没頭できることにとても幸せを感じています。ポスター撮りの日「白井さんの稽古は大変だよ」と笑う圭さんがとても楽しそうだったので、どんな大変で楽しいお稽古が始まるのか…今から待ち遠しいです。

1995年生まれ。福岡県出身。18年に連続テレビ小説「半分、青い。」でヒロインの親友役を演じ注目を集める。22年に舞台『恭しき娼婦』で第30回読売演劇大賞上半期女優賞ベスト5に選出。2023年エランドール新人賞受賞。近年の主な出演作品は、【映画】「スイート・マイホーム」「マイ・ブローカー・マリコ」「TANG タング」「余命10年」、【ドラマ】「正義の天秤 season2」「あなたがしてくれなくても」「両刃の斧」「ファーストペンギン!」、【舞台】『眠くなっちゃった』『DOORS』『今が、オールタイムベスト』『終わりのない』など。2024年1月より放送のドラマ「春になったら」(カンテレ、フジテレビ系)に出演。



演出_白井 晃



エンダ・ウォルシュの作品と出会うのは3回目になる。いつもその戯曲は謎に満ちていて、ひと筋縄ではこちらの理解を許してくれない。一見普通に見える部屋は、実は人々の記憶を呼び起こし、内面を照らし出す装置でもある。登場人物は常に、社会からの疎外にさらされていて孤独だ。でもそれは特殊なことではなくて、私たちみんなが抱えている孤独だ。だから我々はいつもその登場人物に共振してしまう。人の人生はどう生きたかではなく、自らどう語るかだ、そんな作者の声が聞こえてくる。この少々捻じ曲がったエンダの世界をじっくり味わってもらえるよう、出演者のみなさんと創作に励みたいと思っている。

Medicine メディスン 6月29日(土) 18:00~・30日(日) 13:00~

■中ホール・大地 ■1階席8,000円 2階席7,000円 こども・学生1,000円(28歳以下の学生)※未就学児入場不可